

各 位

会 社 名 株式会社アートフォースジャパン  
代表者名 代表取締役社長 山口 喜廣  
(コード番号 5072 TOKYO PRO Market)  
問合せ先 取締役経営統括本部長 持塚 隆  
(TEL 0557-45-1109)

### 2023年12月期通期連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、2023年11月15日に公表いたしました2023年12月期通期(2023年1月1日～2023年12月31日)の業績予想と実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2023年12月期通期連結業績予想と実績との差異(2023年1月1日～2023年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 4,107	百万円 △42	百万円 △40	百万円 △18	円 銭 △72.46
今回実績(B)	4,168	△52	△56	△24	△98.25
増減額(B-A)	60	△9	△16	△6	
増減率(%)	1.5	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2022年12月期)	4,790	127	124	90	360.78

#### 2. 差異の理由

2023年12月期通期(2023年1月1日～2023年12月31日)につきまして、売上高は当初予想通りに推移し、前回発表予想より60百万円を上回る結果となりました。一方、利益については、インフレの進行や金融資本市場の変動等と急激な為替相場の円安進行も伴い、エネルギー価格や原材料価格の高騰に伴う、仕入価格の改定による売上原価率の上昇を抑えるべく様々な施策を実施いたしました。しかしながら、売上原価は工事原価経費の縮減を上回り前回発表予想より76百万円増加したため、売上総利益は前回発表予想より16百万円下回る結果となりました。また、販売費及び一般管理費については更なる見直しと削減を行い、予想より6百万円減少となりましたが、売上原価の高騰をカバーすることができず営業損失は52百万円と前回発表予想より9百万円下回る結果となりました。

以上のことから、経常損失は56百万円と前回発表予想より16百万円下回り、親会社株主に帰属する当期純損失は24百万円と前回発表予想より6百万円下回る結果となりました。

以上